

米山奨学会：

佐藤 弘志 君 7・13水害に際しましては皆様から御心配、お見舞い有難うございました。おかげ様で会社、自宅共復元し、通常業務、通常生活をして居ります。有難う御座いました。

柄沢 憲司 君 今年度は米山の委員長を命じられ目標100万に向けて、ガンバルつもりです。皆様のご協力心よりお願い致します。

*コメント賞は7月丸山達夫会員、8月高橋彰雄会員です。

卓 話： 「青少年と語学について」 チーナネットワーク代表 梅田純子様



お顔を拝見いたしましたら、皆さん私の先輩や先生方で恥ずかしいやら、申し訳ないやらで殆ど食が進まぬまま段に上がりました。

今日の三條新聞に「セレンビテティ」というお店屋さんが今日から始まりますという広告が出ていました。私とお店は全く関係ないのですが、「セレンビテティ」という言葉が好きです。この言葉の意味をご存じの方、沢山いらっしゃると思いますが、私は最近この言葉の意味を知り、いい言葉だなと思っていました。この言葉の意味は偶然の出会いとか出来事、大

きく人生が変わる、とかなにか大きな影響を及ぼすというような言葉です。

例えば、エジソンがリングか木から落ちるのを見て「万有引力」を思いついたのも「セレンビテティ」です。又、YKKの社員がジッパーだとお年寄りや病気の方が不便なのでもっといい物はということで、マジックテープを思いついたのも、たまたま山に行った時、頭の上から落ちてきた毛虫を見て思いついたそうですがこれもまた「セレンビテティ」です。そして五十嵐さんがせっぱ詰まって私にお願いにいらしたのももしかしたら「セレンビテティ」で何かいい出会いがあるかなと思っておじやま致しました。

今日は三条市を中心として青少年の語学がどのようになっているかということをお話しさせて頂きたいと思います。

私の子供の頃の話からさせて頂きます。私は子供のころから海外に興味を持っていました。

幼稚園の頃一番好きな番組は「兼高かほる世界の旅」という番組で「オオカミ少年ケン」が終わると次に始まりますが、私は「オオカミ少年ケン」よりも好きだという幼稚園の子供でした。いつか兼高かほるさんみたいに世界に出て仕事ができるような人になりたいなと思っていました。その頃からどこかに英語を教えるところはないかなと思っていましたが探してもなく実現しませんでした。

高校に入った頃には漢文がとても好きになりました。ただ漢文を先生は返りてんとか一二てんとか付けながら戻ったり進んだりしながら読むことに違和感を感じて、漢文は絶対そんなはずはない、上から下まで中国の方はすらすら読むのだから、私もそう読まなければ鑑賞はできないと感じました。その時は中国語の先生いないかなと探して見ましたが三条あるいは新潟県内中国語を教える先生はいらっしゃいませんでした。そこで断念しました。

ですから私が中国語の勉強を始めたのは大学生になってからです。運良く希望通りの通訳という仕事もできるようになって三条に18年前に戻ってきました。その時外国語をもっとブラッシュアップをしたくて三条市内の学校を探しました。その頃英語の学校はありましたが英語以外の学校はやはり見つからなく、結局は自分でするしかないと思い18年前に旭町にチャイナネットワークという語学の学校を始めました。最初は生徒一人、先生一人から始まりました。菊田まきこさんも最初の頃スタッフであり生徒さんでした。

その後、中国語を勉強するという若い方も出てきました。高校は勉強をして、大学は中国語を外国語として受験して大学でも中国語を勉強し、留学して今、戻ってくるような方が増えていて、そういう方々がスタッフとして活躍しています。私の頃はそんな状況で外国語を勉強したくてもできないという実情で更に英語以外の先生もなく、教室もない状況でした。今は少なくとも私共もやっていますし又増えてきているようです。

最近の傾向としては、子供でも英語だけではなく中国語を習う方、韓国語を習う方もいらっしゃるの
ので裾野が広がっているように感じます。

英語で123は何というかわかりますよね。中国語はどうでしょうか。イーリャンサンとたいていの方はわかります。韓国語はどうでしょうか。すみません専門家がいらっしゃったようです。たいてい
こういう会で韓国語はと聞くとシーンとなります。日本と韓国が一番近い国なのに韓国語で123と
言ってくださいと言っても殆どの方が言えないというのがちょっと前までの現状です。逆に英語、ドイ
ツ語、フランス語等は大体の方が言えます。

最近、韓国語教室にも問い合わせがあります。今韓国ブームということもあり習いたいという方も
増えています。韓国語の123はイリイサムサです。1個、2個はハナと言いますが日本語にも入っ
ています。「はなから言ってたじゃない」というように1から言ってと言うように韓国語からきてい
るそうです。日本の言葉の中にたくさん韓国語がはいっているが今迄は日本人は無関心できたのだ
らうと思います。

例えば、先程「五十嵐さんよりノッポなもんで」と言いましたが、背が高い、ノッポという言葉も
韓国語です。「お腹がペコペコです」もご飯を食べることをモグタなんですけど日本でもモグモグご飯
を食べる、いっぱい食べるという言葉です。お腹がペコです。何気なく私たちが使っている言葉の中
にたくさん韓国語が入っています。

外国語というと英語と思う方も多いと思いますが、世界はとっても広い、英語が中心と思っていま
すがそうではないと小さいうちから理解してくださる方が増えてきていることは非常にありがた
いと思っています。

三条市の小学校の例ですが、2002年から英語の教育が始まっています。7・8名の先生が順番に小
学校を回って英語を教えています。

外国語は小さいうちから始めれば良いと言うことは一般的に思われていますが、本当にどうかと言
うことを調べた学者がいます。言語学では有名な話ですがカリフォルニアに住んでいるジイニーとい